

北八ヶ岳 スノートレッキング

【日程】2014年01月11日(土) ~ 2014年01月13日(月)

【メンバー】5人

【天候】晴れ

【アクセス】新大阪==名古屋(新幹線)==松本(特急しなの)==茅野(特急あずさ)

茅野駅前からバスで北八ヶ岳ロープウェイ前まで約1時間北八ヶ岳ロープウェイで山上まで

<p>***コースタイム*** ===1日目=== JR 茅野駅 11:55 北八ヶ岳ロープウェイ 13:15 坪庭 出発 13:45 五辻展望台 14:45 大石峠 16:34 麦草ヒュッテ 到着 16:50 ===2日目=== 麦草ヒュッテ 出発 7:50 青苔荘 8:40 白駒池 8:41 高見石小屋 10:10 (コーヒータイム) 白駒の奥庭 11:24 麦草ヒュッテ 12:10 五辻展望台 14:20 坪庭 14:50 ロープウェイ乗り場 14:55 (下山)</p>	<p>***活動状況*** 坪庭付近はトレースが多数あり、アイゼン歩行で進む。スノーシューハイクを楽しむ人と多く出会う。坪庭から五辻を経て大石峠に向かう道は、ふかふかの雪道。樹林帯の緩やかなアップダウンが続く。アイゼンよりはワカンのほうが歩きやすかった。 麦草峠から白駒池を経て高見石までは、歩く人も多く、トレースもしっかりしているが、そこから先はトレースもまばらでふかふかの雪はアイゼンもきかないと、高見石小屋の従業員に教えてもらった。リーダーの決断で、今回は黒百合平を経て渋ノ湯に下りるのをあきらめ、もと来た道をロープウェイ乗り場まで戻ることになった。</p>
--	--

【写真】



大阪方面から新幹線と特急を2本乗り継いで、やっと八ヶ岳の玄関口、茅野市にやってきた。すごく立派な駅。



駅からバスで北八ヶ岳ロープウェイ乗り場まで揺られること約1時間。連休で、ロープウェイ乗り場は登山客やスキー・スノボ客でごった返していた。



ロープウェイ山頂駅に降り立つ。出たところが坪庭の入り口。



八ヶ岳には40回以上入っているというリーダーからコース説明を受ける。



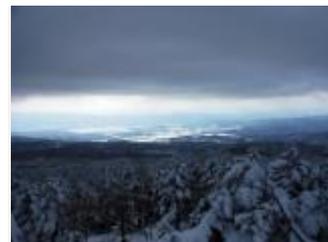
坪庭をとりあえずつぼ足で歩行してみる。雪に足を慣らす。トレースはあるが、結構滑って、ビビりながら歩く。



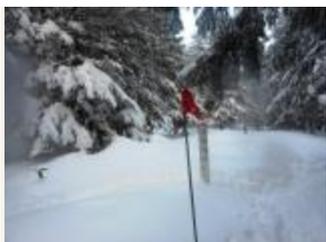
アイゼンをつけて、いよいよ今日の宿がある麦草峠に向かう。



樹林帯を進む。雪はふかふかして、アイゼンでは歩きにくい。途中でワカンに換えて歩く。



ときどき、眺めのよい場所に出る。風がなく、歩きやすい。



なだらかな斜面を登ったり降りたりしながら、大石峠まで来た。



大石峠から樹林帯を緩やかに下っていくと、麦草ヒュッテに到着した。



5時半から夕食。手ごねハンバーグがおいしかった。



大部屋の様子。客は少なく、半分も埋まっていない。部屋の中央に大きな石油ストーブが1つあるだけ。布団と毛布が各自用意されていたが、夜は冷えこんで結構寒かった。持参したシュラフカバーを布団の間に入れて寝る。



朝食は6時半から。食事はどれもとてもおいしかった。



朝は雪が締まっているので、白駒池までアイゼン歩行で進むことになった。



トレースのはっきりした樹林帯の中を進んでいく。雪が深くなってきたので、ワカンをつける。



しばらく進むと、青苔荘の前に出る。ここは、冬季は宿泊客がある場合のみ営業しているという。今日は、営業していた。



青苔荘の向こうにだだっ広い雪原が見える。



白駒池。完全に凍っている。湖の対岸までトレースがあった。



10センチほど積もった雪の下は、分厚い氷の表面。



湖の途中まで歩いてみる。



折り返して、高見石に向かう。



高見石小屋で、コーヒータイム。温かいコーヒーで生き返った気分。



高見石小屋の裏の岩山を登る。



登りきったところは、360度の大きなパノラマ。遠くに浅間山が見えている。



反対方向には、南八ヶ岳の峰々が見えている。雲も風もなく、ただただ感動して立ちすくむ。



高見石小屋は、ソーラー発電。



高見石から、折り返して麦草ヒュッテ方面に戻る。



美しい雪原に出た。



白駒の奥庭と呼ばれるところ。樹氷の美しさは、この辺でも群を抜いている。



風もなく、お日様もぼかぼか。しばし、景色を眺めながら休憩。



手前で見えているのは茶臼山。奥が縞枯山。



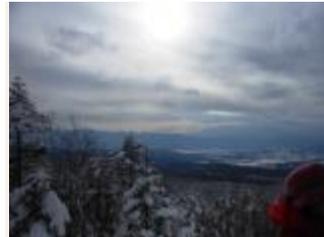
麦草ヒュッテが見えてきた。



ここで、昨日通ってきたロープウェイ方面への道を折り返す。同じ道でも、行きと帰りでは景色が違うので違う道のように見える。



日が昇ってくるとぼかぼかと暖かくなってきた。雪原のトレースもくっきりしているが、ちょっとトレースを外すと、腰まで埋まる。



五辻展望台に到着。



ここは、コースの中でも携帯の電波が入る貴重な場所。



坪庭まで戻ってきた。遠くから雪雲が追いかけてきた。



ロープウェイ乗り場まで戻ってきた。山行はこれで終了。ロープウェイで下まで降りて、タクシーで茅野市内の宿に向かう。



お疲れ様でした～